

科目名称	看護管理	学年学期	単位数	時間数
		3 学年前期	1	15
担当教員	永井さつき	授業に関わる 実務経験	☒ 有（ 看護師 ） ☐ 無	

【1】授業概要

従来、看護管理といえば病院の看護師長など、管理者になる人が学ぶものという理解が多かったが、現在の看護管理は、新しいヘルスケアシステムを創造し、チームや組織、システムを動かしていく活動として、ケアを提供しているすべての看護職が担う役割として理解されている。看護活動の場は病院のみならず地域の保健医療福祉の場へと拡大しており、対象者に質の高い看護を提供するためには、看護職一人ひとりが提供する対象者への看護ケアのマネジメントと、看護管理者によって行われる看護職を総括し、組織として目的を達成する看護サービスのマネジメントについて理解しておく必要がある。看護基礎教育の段階から専門職として自立・自律した存在を目指すことは質の高い看護の提供には不可欠である。看護基礎教育の最終段階の学習として、マネジメントに必要な知識と技術、チーム医療および他職種との協働・連携のなかで看護師としてのメンバーシップ及びリーダーシップを理解し、看護をマネジメントする基礎的能力を養う。

【2】学習目標

1. 看護管理学の概念と看護のマネジメントについて説明できる。
2. 看護職一人ひとりが提供する看護ケアのマネジメントに必要なマネジメントについて説明できる。
3. 看護職のキャリアマネジメント、ストレスマネジメント、タイムマネジメントを学び自己のキャリア形成について考察できる。
4. 看護管理者によって行われる、看護サービスのマネジメントに必要なマネジメントについて説明できる。
5. 「看護ケアのマネジメント」と「看護サービスのマネジメント」に必要な知識・技術や関連する法・制度について説明できる。

【3】第2看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間の理解
- 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
- 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
- 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
- 5. 多職種との連携・協働
- 6. 地域医療の理解と生活の支援
- 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	看護とマネジメント	講義
2	看護ケアのマネジメント	講義
3	看護職のキャリアマネジメント	講義
4	マネジメントに必要な知識と技術	講義
5	マネジメントに必要な知識と技術・看護サービスのマネジメント	講義
6	看護サービスのマネジメント	講義
7	組織の調整:課題学習 SWOT分析	演習
8	試験	

【5】評価方法

- ①学科試験 80%、③演習 20%

【6】教科書

上泉和子:系統看護学講座 専門分野 看護の統合と実践[1] 看護管理 第11版 医学書院 2025

【7】参考書

- ・日本看護協会編:「看護に活かす基準・指針・ガイドライン集 2024」、2024.11.1
- ・原玲子:学習課題とクイズで学ぶ看護マネジメント入門第2版、2022.5.20,日本看護協会出版会
- ・日本看護協会出版会:看護管理学習テキスト別巻 2022年版 第1巻～第5巻 他、必要時紹介

【8】受講生へのメッセージ

本授業は、3学年の各領域で受け持ち患者の看護の際、また、後期の統合実習でも活用する内容です。特に、統合実習と連動するため、本授業に加え、統合実習ガイダンスや臨地実習をととして学びを深めましょう。